

(一財)機械システム振興協会受託事業

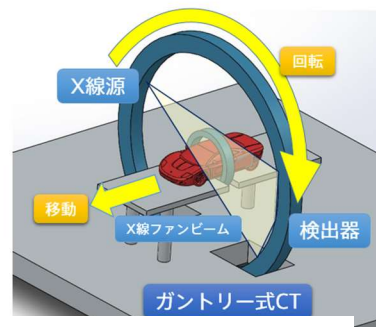
ワークショップ「産業用大型X線CT装置導入に関する戦略 中間とりまとめ」のご案内

デジタルエンジニアリングの世界では、CADデータを活用したバーチャルなものづくりが進められています。測定領域においても、製品現物のもつリアルな情報と統合するX線CT装置を産業用に用いることで、物体の内部を非破壊で撮影・計測する技術が、製造業、運輸業、医療サービス業等で既に使用されています。我が国の機械産業においては、既に中・小型の装置が使用されていますが、欧米においては、更に大型のX線CT装置により、自動車、貨物コンテナ、航空機胴体部品等を丸ごと計測する施設が実現しています。このような大型装置への投資は、企業単独では困難ですが、我が国産業界においても、大型X線CT装置の国内拠点となる共同利用施設として、欧米を上回る性能の装置の早期導入を図る必要があります。X線CT装置、用途及び運用に関して検討を進め、9月に中間とりまとめを行う予定です。

本ワークショップでは、中間とりまとめを広く参加企業、賛同者などへ公開するとともに、ご意見をいただき、具体化に向けた年度後半の検討に活かすことを目的として開催いたします。

- 1.主催:(一社) 研究産業・産業技術振興協会
- 2.共催:(一財)機械システム振興協会
(公社)精密工学会 現物融合型エンジニアリング
専門委員会
- 3.後援:経済産業省 産業技術環境局 (調整中)
(国研)産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門
(一社) 日本自動車工業会
(一社) 日本自動車部品工業会
等 関連団体
- 4.月日:平成30年10月5日 14:00-17:00 ワークショップ
17:15- 交流会
- 5.場所:中央大学 駿河台記念館 280室
JR中央線 御茶ノ水駅 徒歩3分
(地図:<http://www.tsukyo.chuo.ac.jp/access/surugadai/>)
- 6.参加費:ワークショップ 無料、交流会 5,000円
- 7.プログラム

大型X線CT装置 共用施設 (ガントリー式CTの構想)



<事業>

- ・大型機器等の計測
- ・計測技術の支援・X線に関する安全管理
- ・産官学連携による研究開発
- ・取得情報の管理

- ①14:00-14:10 主催者挨拶 研究産業・産業技術振興協会 専務理事 獅山有邦
- ②14:10-14:25 挨拶「挨拶および最近の政策動向について」
経済産業省 産業技術環境局 研究開発課 課長 平井淳生
- ③14:25-14:55 講演「X線CTで進化するデジタルエンジニアリング」
東京大学 大学院工学系研究科 精密工学専攻 教授 鈴木 宏正
- ④14:55-15:55 招待講演「Fraunhofer EZRT-XXL-CT, a new scale of Computed Tomography with stunning imaging capabilities」 Michael Salamon, Fraunhofer IIS EZRT, Germany
- ⑤15:55-16:10 報告講演1「大型X線CT装置のユーザー要求調査について」
研究産業・産業技術振興協会 特任研究員 高橋俊昭
- ⑥16:10-16:25 報告講演2「大型ガントリーX線CTの基本設計について」
産業技術総合研究所 計量標準総合センター工学計測標準研究部門 部門長 高辻 利之
- ⑦16:25-16:40 報告講演3「想定される運営体制について」
日本自動車研究所 理事 中野 節
- ⑧16:40-16:55 質疑応答
- ⑨16:55-17:00 閉会の辞

*講師・プログラムなど変更することがあります。

8.お申込み:添付参加申込書にてお申込みください。

〆切:9月28日

9.お問合せ先:研究産業・産業技術振興協会 企画交流部 高橋、小林、松田まで

TEL:03 - 3868 - 0826、E-mail: t-takahashi@jria.or.jp、kobayashi@jria.or.jp、matsuda@jria.or.jp